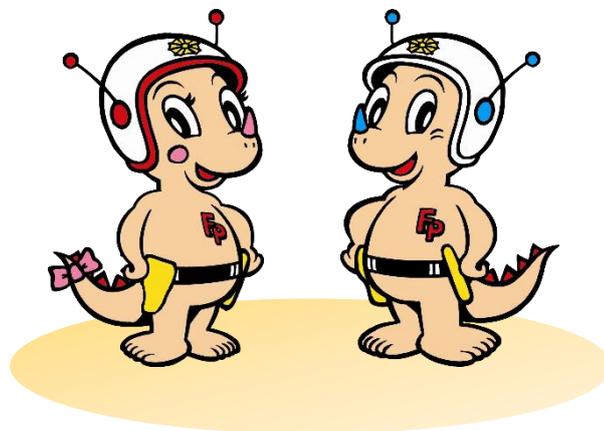


# 福井県の治安情勢 [10月末現在]

(令和7年10月末数値は暫定のものを含む。)



機動隊による災害対処訓練



— 福井県警察 —

# 1 刑法犯

## (1) 刑法犯の認知・検挙状況

認知件数は2,688件で、前年同期に比べて288件(12.0%)増加

検挙件数は1,853件で、前年同期に比べて96件(5.5%)増加

検挙率は68.9%で、前年同期に比べて4.3ポイント下降

		R4	R5	R6	R7.10末
福井	認知件数(件)	2,664	2,840	2,972	2,688(+288)
	検挙件数(件)	1,799	1,631	2,295	1,853(+96)
	検挙人員(人)	1,051	1,183	1,290	1,027(-15)
	検挙率(%)	67.5	57.4	77.2	68.9(-4.3)
全国	認知件数(件)	601,331	703,351	737,679	647,511(+33,090)
	検挙件数(件)	250,350	269,550	287,273	243,539(+14,228)
	検挙人員(人)	169,409	183,269	191,826	162,566(+8,287)
	検挙率(%)	41.6	38.3	38.9	37.6(+0.3)

※1 表中の( )内の数字は、前年同期比(以下同じ。)

※2 検挙率とは、当該年の認知件数に対する検挙件数(当該年の前年以前の認知事件の検挙を含む。)の割合

## (2) 重要犯罪の認知・検挙件数

認知件数は44件で、前年同期に比べて19件(30.2%)減少

検挙件数は38件で、前年同期に比べて25件(39.7%)減少

【認知件数】

(単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
殺人	5	6	4	1(-3)
強盗	1	2	4	1(-3)
放火	2	3	3	3(+1)
不同意性交等	7	10	33	12(-19)
略取・誘拐	2	0	4	0(-4)
不同意わいせつ	11	29	21	27(+9)
合計	28	50	69	44(-19)

【検挙件数】

(単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
殺人	5	6	4	1(-3)
強盗	1	1	5	1(-4)
放火	2	3	3	3(+1)
不同意性交等	7	10	33	10(-21)
略取・誘拐	2	0	4	0(-4)
不同意わいせつ	12	28	21	23(+6)
合計	29	48	70	38(-25)

### (3) 防止重点8罪種の認知件数

認知件数は1,398件で、前年同期に比べて80件(6.1%)増加

(単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
車上ねらい	160	81	139	48(- 88)
自転車盗	310	542	381	429(+ 99)
万引き	562	513	748	660(+126)
置引き	142	143	92	29(- 54)
器物損壊	156	206	153	129(- 1)
空き巣	43	58	44	38(+ 5)
忍込み	20	20	37	10(- 27)
住居侵入	61	55	41	55(+ 20)
合計	1,454	1,618	1,635	1,398(+ 80)

### (4) 主な施策

- 県民の防犯力向上に向けて、犯罪情報等を県警アプリ「ふくいポリス」等によりタイムリーに発信
- 「福井防犯力向上チャレンジ事業所」との継続した取組を推進
- 住宅等の無施錠被害を防止するため、体験型の講習等、効果的・効果的な広報啓発を推進
- 防犯ボランティア等との合同パトロール等を通じた県民の防犯意識の高揚
- 万引き被害の未然防止に向けた量販店等との連携強化



防犯ボランティアとの自転車鍵掛け広報



万引き防止に向けた量販店との連携

## 2 子どもを犯罪から守る対策

### (1) 子どもに対する声掛け事案等

#### ア 相談等件数

相談等件数は122件で、前年同期に比べ7件(5.4%)減少 (単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
小学生以下	55	63	65	53(-3)
中学生	41	45	36	34(+2)
高校生	56	53	46	32(-8)
その他	1	5	1	3(+2)
合計	153	166	148	122(-7)

※ 声掛け事案等とは、性犯罪等の前兆とみられる声掛け、つきまとい等をいう。

※ 「その他」は有職少年、無職少年、大学生をいう。

#### イ 先制・予防的活動

検挙、指導・警告件数は83件で、前年同期に比べて3件(3.8%)増加

(単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
検挙	16	33	37	23(-11)
指導・警告	69	68	60	60(+14)
合計	85	101	97	83(+3)

#### ウ 主な施策

- 防犯ボランティアと連携した通学路の重点的な警戒・パトロールや不審者情報等のタイムリーな発信
- 子どもの危険回避能力を向上させるため、防犯教室等を開催
- 声掛け等の前兆事案による被害の未然防止・拡大防止のため、行為者に対し、先制・予防的な検挙や指導・警告を実施



陸上競技場における盗撮警戒活動



「イカのおすし」を伝える子ども防犯教育

## (2) 児童虐待事案の認知対応状況

### ア 認知対応件数等

児童通告人員は360人で、前年同期に比べて22人(5.8%)減少

検挙件数は16件で、前年同期に比べて6件(27.3%)減少

		R4	R5	R6	R7.10末
児童通告	人員(人)	539	449	447	360(-22)
	身体的	59	59	42	38(+4)
	性的	0	2	1	0(-1)
	不測	16	31	26	17(-1)
	心理的	464	357	378	305(-24)
	うち面前DV	333	260	282	228(-18)
検挙件数(件)		17	21	25	16(-6)

### イ 主な施策

- 児童相談所など関係機関との連携
- 児童の安全確保を最優先とした対応



児童健康診断会場における広報啓発活動



教育関係者に対する初期聴取研修会

### 3 非行少年を生まない社会づくり

#### (1) 非行少年の推移

検挙・補導した非行少年は200人で、前年同期に比べて1人（0.5%）増加

(単位：人)

	R4	R5	R6	R7.10末
犯罪少年	82	168	212	151(-21)
触法少年	19	40	39	49(+22)
ぐ犯少年	0	1	0	0(±0)
非行少年総数	101	209	251	200(+1)

#### (2) 主な施策

- 少年の規範意識の向上のため、学校と連携した非行防止教室（ひまわり教室）を実施
- SNSに起因した犯罪等の加害者、被害者にさせないため、ターゲティング広告等、工夫を凝らした広報啓発を実施



関係機関と連携した補導活動



官民協同によるSNSの危険性を若者に訴える広報啓発動画の作成

#### 4 DV・ストーカー等の人身安全関連事案対策

##### (1) DV事案の相談等・検挙状況

相談等件数は158件で、前年同期に比べて38件(19.4%)減少

検挙件数は95件で、前年同期に比べて17件(21.8%)増加 (単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
相談等	190	203	229	158(-38)
検挙	80	112	102	95(+17)
裁判所からの保護命令	3	6	8	7(-1)
警告	85	88	92	57(-24)

##### (2) ストーカー事案の相談等・検挙状況

相談等件数は106件で、前年同期に比べて24件(29.3%)増加

検挙件数は36件で、前年同期に比べて14件(63.6%)増加 (単位:件)

	R4	R5	R6	R7.10末
相談等	122	90	104	106(+24)
検挙	20	31	31	36(+14)
禁止命令・警告	42	37	57	62(+19)

##### (3) 主な施策

- DV・ストーカー等の人身安全関連事案の被害者の安全を確保するため、行為者の検挙、禁止命令等の行政措置等を徹底
- 防犯力向上のため、企業・団体等における防犯講座等を実施
- ストーカー行為者の更生のため、医師や臨床心理士等と連携し、治療に関する助言を行うなど、更生に向けた支援を実施



外国人留学生を対象とした防犯講習会



人身安全関連事案への対処に関する教養

## 5 匿名・流動型犯罪グループによる資金獲得犯罪への対策

### (1) 特殊詐欺

ア 特殊詐欺の認知件数及び被害額（被害額の千円未満は四捨五入）

- ・ 特殊詐欺の認知件数は55件で、前年同期に比べて35件（175.0%）増加
- ・ 被害金額は約3億4,457万8千円で、前年同期に比べて約2億1,351万3千円（162.9%）増加

#### 【被害の特徴】

- ① 手口別では、オレオレ詐欺が最も多く（55件中39件、70.9%）、次いで架空料金請求詐欺が多い（55件中10件、18.2%）
- ② 交付形態別では、「振込」が最も多く（55件中36件、65.5%）、次いで「現金手交」が多い（55件中6件、10.9%）

	R4		R5		R6		R7.10末	
	認知 (件)	被害額 (千円)	認知 (件)	被害額 (千円)	認知 (件)	被害額 (千円)	認知 (件)	被害額 (千円)
オレオレ	3	7,000	7	19,080	11	58,819	39(+33)	315,365(+295,999)
預貯金	8	5,315	5	14,892	2	1,993	1(-1)	0(-1,993)
架空料金請求	10	12,558	14	24,284	6	104,161	10(+5)	10,795(-93,068)
還付金	3	2,291	2	995	2	1,914	0(-2)	0(-1,914)
キャッシュカード詐欺盗	2	2,500	1	1,091	5	3,929	3(-2)	4,400(+471)
金融商品詐欺	0	0	0	0	0	0	1(+1)	14,000(+14,000)
その他特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	1(+1)	18(+18)
合計	26	29,664	29	60,342	26	170,816	55(+35)	344,578(+213,513)

※ 近年県内で発生している手口のみ記載

※ 預貯金詐欺とは、親族や警察官、銀行協会職員等を装い、口座が犯罪に利用されているなどと騙り、交換手続き名目でキャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るもの。

※ キャッシュカード詐欺盗とは、オレオレ詐欺等の手口で被害者に接触し、被害者の隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗をいう。

## イ 検挙状況

特殊詐欺検挙件数は14件で、前年同期に比べて7件（100.0%）増加

	R4	R5	R6	R7.10末
特殊詐欺検挙件数(件)	16	21	9	14(+7)
助長犯罪検挙件数(件)	41	43	42	56(+22)
合計(件)	57	64	51	70(+29)

※ 助長犯罪とは、売却目的で携帯電話や預貯金口座を不正に取得するなど、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺を助長する犯罪をいう。

## ウ 取締り

特殊詐欺被害金を暗号資産に交換してマネーロンダリング（資金洗浄）する組織犯罪処罰法違反事件（R7.9～）

警察官を騙る手口で福井県他3県で敢行された特殊詐欺事件（R7.5～）



押収したパソコン・携帯電話等

## エ 主な施策

- 特殊詐欺被害の防止に向けて、高齢者等の防犯意識を高揚させるため、被害防止に関する出前講座等を実施
- 特殊詐欺の犯人からの電話を直接受けることを防止するため、国際電話の利用休止を促すなどのハード対策を推進
- 特殊詐欺の被害を水際で阻止するため、金融機関やコンビニエンスストア等と連携し、利用者等への声掛けや注意喚起等を促進
- 県内に本部機能を有する9つの金融機関による、金融犯罪に係る情報共有と連携に関する協定を締結し、特殊詐欺等の被害拡大防止や被疑者検挙を推進
- 「だまされた振り作戦」や他の都道府県警察との連携による特殊詐欺犯行グループ壊滅に向けた取締りを実施
- 携帯電話や預貯金口座の不正取得等の特殊詐欺を助長する犯罪の取締りと犯行に利用された携帯電話の利用停止や預貯金口座の凍結など、犯行ツールの無力化対策を推進



金融犯罪に係る情報共有と連携に関する協定の締結



駅のデジタルサイネージを活用した広報啓発

## (2) SNS型投資・ロマンス詐欺

- ア SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数及び被害額（被害額の千円未満は四捨五入）  
 SNS型投資・ロマンス詐欺とは、SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、金銭をだまし取るもの
- ・認知件数は41件で、前年同期に比べて26件（173.3%）増加
  - ・被害額は約6億5,561万4千円で、前年同期に比べて約3億2,333万2千円（97.3%）増加

### 【被害の特徴】

- ① 被害者は60歳代が13件（31.7%）で最も多いが、幅広い世代が被害に遭っている
- ② 被害のきっかけは「SNS」が多く（41件中23件、56.1%）、次いで「マッチングアプリ」が多い（41件中11件、26.8%）
- ③ 交付形態別では「振込」と「暗号資産」が多い（いずれも41件中17件、41.5%）

	R5		R6		R7. 10 末	
	件数 (件)	被害額 (千円)	件数 (件)	被害額 (千円)	件数 (件)	被害額 (千円)
投資詐欺	6	77,366	13	242,750	21(+11)	245,712 (+81,252)
ロマンス詐欺	6	96,283	8	190,218	20(+15)	409,902 (+242,080)
合計	12	173,649	21	432,968	41(+26)	655,614 (+323,332)

### イ 検挙状況

	R5	R6	R7. 10 末
検挙件数（件）	0	3	5(+2)
検挙人員（人）	0	3	4(+1)

※ 助長犯罪の検挙件数については特殊詐欺の項目に記載。

ウ 主な施策

- SNS型投資・ロマンス詐欺被害を未然に防止するため、高齢者をはじめとした幅広い世代に対して、ターゲティング広告等、工夫を凝らした広報啓発を推進
- 被害の未然防止に向けた金融機関等との連携
- SNS等のアカウントや暗号資産の口座など犯行ツールに関する捜査による、SNS型投資・ロマンス詐欺犯行グループ壊滅に向けた取締り



SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止に向けた動画広報



投資イベントにおける広報啓発活動

6 組織犯罪対策

(1) 暴力団

ア 検挙状況

検挙人員は47人で、前年同期と比べて5人（11.9%）増加（単位：人）

	R4	R5	R6	R7.10末
刑法犯	26	38	22	17( -4)
特別法犯	27	16	23	30( +9)
合計	53	54	45	47( +5)

イ 主な施策

- 暴力団の壊滅に向けた取締りを実施
- 暴力団を公共事業や民間取引から排除するなど、社会一体となった暴力団排除活動を推進



暴力追放福井県民会議

## (2) 薬物事犯

### ア 検挙状況

検挙人員は 82 人で、前年同期と比べて 7 人 (9.3%) 増加 (単位：人)

	R4	R5	R6	R7.10 末
覚醒剤	43	50	42	56(+18)
うち少年	0	0	0	0(±0)
大麻	27	28	38	16(-16)
うち少年	3	2	6	1(-3)
その他	7	5	6	10(+5)
うち少年	1	0	0	1(+1)
合計	77	83	86	82(+7)
うち少年	4	2	6	2(-2)

※少年とは 20 歳未満の者

### イ 取締り

敦賀市内における覚醒剤取締法違反（所持）事件（R7.10）

福井市内における麻薬及び向精神薬取締法違反（大麻所持）事件（R7.11）



押収した覚醒剤



押収した大麻

### ウ 主な施策

- 少年の規範意識の向上のため、学校等と連携した非行防止教室等を実施
- 覚醒剤や大麻など、薬物の需要の根絶と供給の遮断に向けた取締りと広報啓発を推進



中学生を対象とした薬物乱用防止教室



関係機関と連携した薬物乱用防止広報

### (3) 来日外国人犯罪

#### ア 検挙状況

検挙件数は123件で、前年同期に比べて5件（4.2%）増加

検挙人員は59人で、前年同期に比べて15人（34.1%）増加

	R4	R5	R6	R7.10末
検挙件数（件）	97	82	135	123(+5)
刑法犯	66	54	109	99(+4)
特別法犯	31	28	26	24(+1)
検挙人員（人）	63	50	56	59(+15)
刑法犯	36	32	44	48(+16)
特別法犯	27	18	12	11(-1)

#### イ 主な施策

- 在留外国人に係る犯罪被害の防止、関係機関・団体等と連携した外国人コミュニティへの犯罪組織の浸透防止のための防犯講習、法令指導、110番通報講習、防犯に関する広報啓発活動、災害対策等の各種活動を推進
- 出入国在留管理庁と連携した不法滞在者の取締りを推進



外国人留学生を対象とした防犯講習(再掲)



技能実習生に対する法令指導

## 7 サイバー犯罪対策

### (1) サイバー犯罪関連の相談受案件数

相談件数は2,479件で、前年同期に比べて300件（13.8%）増加（単位：件）

相談区分	R4	R5	R6	R7.10末
詐欺・悪質商法	956	1,127	1,445	1,222(-7)
違法・有害情報	58	55	46	71(+31)
名誉棄損・誹謗中傷	89	69	136	115(±0)
不正アクセス、コンピュータ・ウイルス	406	232	219	328(+143)
迷惑メール	242	292	236	200(+12)
クレジットカード番号盗取等	202	219	348	367(+80)
その他	189	78	153	176(+41)
合計	2,142	2,072	2,583	2,479(+300)

※ 「その他」には、児童に係る被害に関するもの、プロバイダとの契約トラブルを含む。

## (2) 検挙状況

検挙件数は 112 件で、前年同期に比べて 54 件 (93.1%) 増加 (単位：件)

	R4	R5	R6	R7.10 末
不正アクセス禁止法違反	3	1	7	14(+10)
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	12	3	3	7(+7)
ネットワーク利用犯罪	52	66	76	91(+37)
詐欺	24	30	25	23(+7)
児童買春・児童ポルノ法違反	3	2	7	10(+4)
県青少年愛護条例違反	3	3	0	3(+3)
わいせつ物頒布等	0	0	0	0(±0)
その他	22	31	44	55(+23)
合計	67	70	86	112(+54)

※ コンピュータ・電磁的記録対象犯罪とは、刑法に規定されているコンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪をいう。

※ ネットワーク利用犯罪の「その他」は、脅迫、名誉毀損のほか、ネットワークを利用した各種法令違反をいう。

## (3) 主な施策

- 民間の自主的な被害防止対策を促進するため、事業者等と連携した体験型サイバー犯罪を開催
- 被害の防止や規範意識の向上のため、サイバー防犯ボランティアと連携した若年層に対する広報啓発活動を実施



事業者を対象とした  
体験型サイバー犯罪研修会



サイバー防犯ボランティア  
と連携した広報啓発活動



サイバー防犯ボランティア  
と協働で制作したポスター

## 8 交通事故から県民を守る対策

### (1) 交通事故の発生状況

#### ア 交通死亡事故の特徴等

- 死者のうち、高齢者が占める割合が高い 19人中12人(63.2%)
- 幹線道路での発生が多い 18件中11件(61.1%)
- 夜間の発生が多い 18件中11件(61.1%)

#### 【交通事故発生状況】

	R4	R5	R6	R7.10末
総事故件数(件)	20,366	21,582	21,574	18,039(+546)
人身事故件数(件)	939	986	964	792(+31)
死者数(人)	27	20	23	19(-1)
傷者数(人)	1,063	1,133	1,100	889(+22)
重傷者数(人)	191	200	213	166(-5)
物損事故件数(件)	19,427	20,596	20,610	17,247(+515)

※ 全国の交通事故死者数(R7.10末)は2,005人で、前年同期に比べて123人減少(速報値)

#### 【年齢層別・当事者別死者数(R7.10末)】

(単位：人)

	自動車等				自転車	歩行者	その他	合計
	自動車	自動二輪車	原付	計				
29歳以下	1	1	0	2	0	0	0	2(+2)
30歳代	0	0	0	0	0	1	0	1(±0)
40歳代	0	2	0	2	0	0	0	2(+1)
50歳代	1	0	0	1	0	0	0	1(-1)
60～64歳	0	0	0	0	0	1	0	1(+1)
65歳以上	7	0	0	7	1	4	0	12(-4)
75歳未満	1	0	0	1	0	1	0	2(-3)
75歳以上	6	0	0	6	1	3	0	10(-1)
合計	9	3	0	12	1	6	0	19(-1)

#### イ 主な施策

- 交通事故抑止に資する交通指導取締りを推進
- 関係機関・団体と連携した交通安全対策を推進
- 交通安全教育等による交通ルールを周知

## (2) 高齢交通弱者対策

### ア 高齢者（65歳以上）が犠牲となる交通死亡事故

高齢者の死者は12人で、前年同期に比べて4人減少

高齢者の死者数は全体の約6割（19人中12人）

	R4	R5	R6	R7.10末
全死者数（人）	27	20	23	19(-1)
高齢死者数（人）	20	14	18	12(-4)
構成率（%）	74.1	70.0	78.3	63.2(-16.8)

### イ 高齢交通弱者が犠牲となる交通死亡事故

高齢交通弱者（歩行中・自転車乗用中）の死者は5人で、前年同期に比べて5人減少

（単位：人）

	R4	R5	R6	R7.10末
高齢交通弱者の死者数	12	4	10	5(-5)
歩行中	9[8]	3[3]	7[7]	4[4](-3[-3])
夜間歩行中	3[2]	1[1]	4[4]	3[3](-1[-1])
自転車乗用中	3	1	3	1(-2)

※[ ]は反射材非着用

### ウ 主な施策

- 事故遭遇のおそれがある者に対する保護・誘導活動、反射材普及活動等の高齢交通弱者対策（自転車・歩行者）を推進
- 高齢者を対象とした参加・体験型の交通安全教育を推進
- 自転車利用者に対する指導取締り



VRを活用したデジタル体験型安全講習



反射材普及活動

### (3) 高齢運転者対策

#### ア 高齢運転者が第1当事者（一般原付以上）となる交通死亡事故

交通死亡事故のうち、高齢運転者が第1当事者となる交通死亡事故は7件（前年同期比+1件）で、全体の約4割（41.2%）を占めている。

（単位：件）

	R4	R5	R6	R7.10末
交通死亡事故件数	23	20	20	17(±0)
高齢運転者が第1当	11	10	8	7(+1)

#### イ 年齢層別・当事者別死亡事故件数（第1当事者・一般原付以上）

（単位：件）

	自動車	自動二輪車	原付	合計 (R7.10末)
29歳以下	2	0	0	5(+3)
30歳代	0	0	0	0(-3)
40歳代	1	1	0	3(+3)
50歳代	2	0	0	2(-3)
60～64歳	0	0	0	0(-1)
65歳以上	5	0	0	7(+1)
75歳未満	2	0	0	2(-3)
75歳以上	3	0	0	5(+4)
合計	10	1	0	17(±0)

#### ウ 主な施策

- 運転免許証の自主返納しやすい環境整備等を推進
- 高齢者を対象とした参加・体験型の交通安全教育を推進
- 高齢者の自宅訪問を通じた交通安全指導を推進
- 天候や体調不良等での運転制限を推奨する「おろしそば運転」の広報啓発



自主返納出張窓口の開設



「おろしそば運転」の広報啓発

#### (4) 悪質・危険運転者対策

##### ア 飲酒運転を伴う人身事故（第1当事者が一般原付以上）

飲酒運転を伴う人身事故は11件で、前年同期に比べて5件増加

死亡事故は1件発生で、前年同期に比べて1件増加

	R4	R5	R6	R7.10末
人身事故件数（件）	9	20	9	11(+ 5)
死亡事故件数（件）	1	0	0	1(+ 1)
構成率（%）	11.1	0	0	9.1

##### イ 飲酒運転の取締り

飲酒運転の検挙件数は202件で、前年同期に比べて68件増加

	R4	R5	R6	R7.10末
検挙件数（件）	119	175	183	202(+ 68)

##### ウ 速度違反の取締り

速度違反の検挙件数は4,936件で、前年同期に比べて292件増加

	R4	R5	R6	R7.10末
検挙件数（件）	10,741	9,665	4,839	4,936(+ 292)

##### エ 横断歩行者妨害違反の取締り

横断歩行者妨害違反の検挙件数は1,255件で、前年同期に比べて248件減少

	R4	R5	R6	R7.10末
検挙件数（件）	858	1,216	1,633	1,255(- 248)

##### オ 主な施策

- 飲酒運転等の悪質・危険な違反に重点を置いた取締りを推進
- 飲酒運転根絶に向けた広報啓発活動を推進
- 通学路や生活道路における交通指導取締りを推進



夜間における飲酒検問



速度違反の交通指導取締り